

最近、振り込め詐欺以外にも下記のような事件が全国各地で発生しています。不審に思ったら、広域連合事務局や各市町村後期高齢者医療担当部署に、すぐに問合せて確認し、お近くの警察署に相談しましょう。

- ② 被保険者証の回収を行っていると名乗る男性が訪問し、その依頼どおり、ご夫婦の後期高齢者医療被保険者証を手渡した。その後、疑問に思い市役所に確認したところ、被保険者証の詐取被害に遭ったことが判明した。
- ◎ 市町村職員を名乗る女性が訪れ、「被保険者証の更新時期になったので、古い被保険者証を回収にきた。新しい被保険者証は後日持参します。」と説明があった。手持ちの被保険者証の有効期限も残っていたことや、新しい被保険者証も持参していなかったことから疑問に思い、自宅で保管していた旧老人保健医療証を渡した。後に役所へ確認したところ、そのような被保険者証の更新事務は行っておらず、詐取されたことが判明した。
- ◎ 広域連合職員を名乗る電話が入り、「後期高齢者医療の還付があるので、振込手続きをしたが入金できなかった。改めて口座番号を教えてほしい。」との内容だったため、口座番号を回答した。職員の所属を確認したが、聞き取りにくく担当者が名前を名乗らなかったため、不審に思い、翌日居住地の役所と広域連合あてに電話をしたかどうか確認したところ、該当する還付や給付がなかったことが判明した。
- ◎ 被保険者宅に訪問した男性二人に、「必要なので保険証を預かりたい。」と言われるまま、被保険者証を渡してしまった。後に返してもらえるものと思っていたが、 2週間ほどたっても返却されないため、再交付申請のため市役所の窓口を訪れたことにより、事件が判明した。